

デイケアプログラムの中から
「共同作業」の内容を紹介したいと思います。
今回、紹介する共同作業の内容は
卓球で使用するコルクネット制作の紹介です。

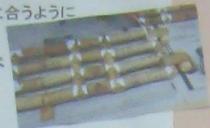


コルクネットとは…？？

まずは設計から始まりました。
ネットに大切な幅や高さ、コルクの大きさを決めます。

実際に作業に取り掛かります。
はじめは約400個あったコルクのサイズを均等に合うように仕分けする作業から取り掛かりました。

その後、高さが合う物を選び、幅の調整をし並べ
ボンドでの装着作業を行います。



簡単に説明していますが
実はこれが大変なんです!!!!

コルクのサイズがバラバラな為
中々近いサイズのコルクが見つからなかつたり
幅が空いた部分の隙間をボンドで埋める作業は
計4回かかりました。
またボンドが乾燥する時間は1週間かかります。

乾燥したら完成です。

このネットは2つに分けられており
それを組み立てると卓球のコルクネットが完成します。



この共同作業では普段中々思い浮かばないアイディアを
皆で出し合い、作業し、1つの物を完成させるという
とても有意義な時間を過ごすことができます。



季節

立春と節分



〈菜の花〉
花言葉
「快活」「明るさ」



立春（二月四日）は、節切りにおいては年初になる。四柱推命や風水などでは、
節分（二月三日）までは前年に属し、立春をもって年が改まるとしているものが多い。
節分の豆まさは、立春を年初として新しい年の幸運を願うての音からの習慣である。



豆まきの起源は…

宇多天皇の時代に、鞍馬山の鬼が出て来て都を荒らすのを、祈禱をし鬼の穴を封じて、三石三升の炒り豆（大豆）で鬼の目を打ち落し、災厄を除かれたという古事記が残りますと語られる。

豆は、「穀物には生命力と魔除けの効力が備わっている」という信仰、または語呂合わせで「魔目（豆・まめ）」を鬼の目に投げつけて鬼を逐る「魔逐」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病無災を願うという意味合いがある。

節分大祭

二月二日、三日には博多の各神社では、節分祭をおこない多くの市民が訪れます。

柳田神社では、江戸時代末期から厄よけ祈願のお祭りとして博多市民に親しまれています。節分の期間、その大きな口を通って参拝すると福をもたらす大お多福面が御持名を出迎えます。

二日は節分福迎え祭と鬼神楽の奉納が行われ、三日の大祭では、厄除開運祈願祭と豆まきが行われます。

〈スバル〉



東長寺では、節分祭に合わせて「千手觀音像」（国重要文化財）や「六角堂」（市
重文化財）の特別開帳も行われます。



〈梅〉
花言葉
「高潔」「忠実」「忍耐」



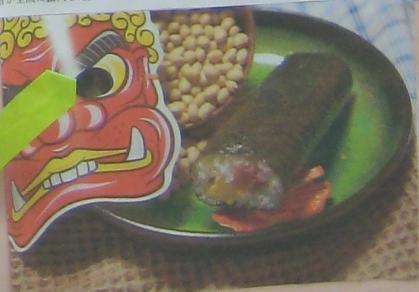
〈水仙〉

花言葉
「うめぼれ」「自己愛」



恵方巻き

節分にその年の恵方(吉方)を向いて食べる縁起が良いとされる太巻き寿司。丸かぶり寿司、恵方寿司とも呼ばれる。「縁を断ち切らない」ように切り分けず、無言で順いごとをしながら1本を丸かじりするのが習わし。七福神にもなみ7種類の具材を巻き込むことが望ましいとされる。正確な起源は不明で、江戸時代末期に大阪の船場で商売繁盛の祈願として始めた風習と発祥とする説など諸説ある。明治期や戦後に一時廃れたが、1977年に大阪海苔問屋協同組合が行った海苔の販売促進イベントで復活した。90年頃よりスーパーやコンビニで販売されるようになり、宣伝活動も活発になったことから、節分に恵方巻きを食べる風習が全国に広がった。



ショートケア・ デイケアの紹介

～ショートケア・デイケア 1日の流れ～

【ショートケア】 時 間	内 容
10:00 ~ 10:10	朝の準備 ① CDをセットして「BGM」を流す ② ホワイトボードに今日の日付を記入 ③ ポットに水を入れて沸かす ④ 空気清浄器のスイッチをONにする ⑤ エアコンのスイッチをONにする ⑥ 搾乳器をONにする ⑦ お茶を入れる
10:10 ~ 10:30	朝のミーティング ① 体調確認(ファイル記入) ② ラジオ体操など
10:30 ~ 11:30	プログラム①
11:30 ~ 11:40	休憩
11:40 ~ 12:40	プログラム②
12:40 ~ 13:00	帰りのミーティング ① 片付け(朝の準備の逆を行う) ② 今日の内容・気づき・感想(ファイル記入) ③ 次回のショートケア・デイケアの予約など

【デイケア(午後)】 時 間	内 容
14:30 ~ 15:50	プログラム
15:50 ~ 16:00	帰りのミーティング ① 今日の内容・気づき・感想(ファイル記入)

※ ショートケア・デイケアとともにプログラムの内容によって、時間が変更になることがあります。

※ 休憩時間以外にも、適宜休憩をとっていただいている場合があります。

ショートケア・デイケア新聞

すばる
プレアデス星団

No.2

イベント

十日恵比寿

十日恵比寿正月大祭

毎年1月8日から1月11日まで正月大祭が執り行われる。

8日が「初えびす」、9日が「えびす」、10日が「戎えびす」と呼ばれる。

正月大祭期間中は福引きや芸妓たちが有名。

福引き

その年の運を試すのが福引き。

福引きを引くと、世話を人の「大当たりー！」の声が壇内に響きます。

福籠と共に渡される景品は、栗子の福引きし、福寄せ、千支、金蔵、そろばん等、縁起の良いものばかりが揃えます。必ず皆様に福が授かるようになっております。

えびす札

古来家屋の新築にあたり棟上に金鉢の雷を押した鉢、又は新鉢の鉢を撤げる式があり、これを上鉢鉢といいました。江戸時代には将軍の御者等の誕生、元服などの時況儀の為に贈呈した黄金の鉢（父鉢・ふくねん）銀の鉢（母鉢・ほくねん）等があり、これが神社、仏閣にも福種鉢（ふくねんせん）として盛んに用いられたようになります。

ところがこの鉢を授かった人は不思議と開運に恵まれた事に依って何時となく縁起の良い金鉢（種鉢）と称え様になりました。

十日恵比寿神社では古くからこの種鉢を貸し出すので「えびす十日鉢」と称し、商いの元金（種鉢）として神社より縁起の良いお金を借り、これを商売の元手にしました。

翌年は神社の御加護に依り繫員として借りたお金を信して神社にお返して、又新しい年の繁昌の為に新たに借りに行く風習がありました。

十日恵比寿神社では古くからしきりに依り昔の通貨「文錢」（これは他には何の例がありません）を授かして居ますが、宝が満ちる様に財布の御守として参詣者大勢の方々がお受けになって居ます。

※えびす札は神社から皆様へお貸ししているものです。1年間経ちましたら、お返し下さい。

恵方巻き

節分にその年の恵方(吉方)を向いて食べる縁起が良いとされる太巻き寿司。丸かぶり寿司、恵方寿司とも呼ばれる。「縁を断ち切らない」ように切り分けず、無言で順いごとをしながら1本を丸かじりるのが習わし。七福神にもなみ7種類の具材を巻き込むことが望ましいとされる。正確な起源は不明で、江戸時代末期に大阪の船場で商売繁盛の祈願として始めた風習と発祥とする説など諸説ある。明治期や戦後に一時廃れたが、1977年に大阪海苔問屋協同組合が行った海苔の販売促進イベントで復活した。90年頃よりスーパーやコンビニで販売されるようになり、宣伝活動も活発になったことから、節分に恵方巻きを食べる風習が全国に広がった。

